

Japanese A: literature – Higher level – Paper 2
Japonais A : littérature – Niveau supérieur – Épreuve 2
Japonés A: literatura – Nivel superior – Prueba 2

Monday 11 May 2015 (morning)
Lundi 11 mai 2015 (matin)
Lunes 11 de mayo de 2015 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied and compare and contrast these works in response to the question. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.
- The maximum mark for this examination paper is **[25 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. En basant votre réponse sur au moins deux des œuvres de la troisième partie que vous avez étudiées, vous devez comparer et opposer ces œuvres dans le cadre du sujet. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la troisième partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à apporter des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[25 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Conteste una sola pregunta de redacción. Base su respuesta en al menos dos de las obras estudiadas de la Parte 3, comparándolas y contrastándolas en relación con la pregunta. Las respuestas que no se basen en al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán una puntuación alta.
- No está permitido traer copias de las obras estudiadas a la sala de examen.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[25 puntos]**.

次の問題から**一つ**を選んで、エッセイ（小論文）を書きなさい。その際、授業で学習した**Part 3**（ジャンル別部門）の、**少なくとも二作品**に言及しなさい。Part 3の二作品を使用していない場合は減点となります。なお、エッセイを書くにあたっては、必ず作品を**比較対照**すること。

物語・小説

1. 物語や小説において、書き出しの文章が主題にどのような影響を与えていると思いますか。学習した二つ以上の作品から例をあげて、比較対照し論じなさい。
2. 物語や小説において、視点の設定はどのように行われていますか。二つ以上の作品から例をあげて、比較対照しながら考えるところを述べなさい。
3. 物語や小説の中で、会話文の持つ役割と効果は何か、二つ以上の作品から例をあげて、比較対照し述べなさい。

随筆・評論

4. 主題となる考えを、いつ、どのタイミングで文中に登場させるかは、随筆家や評論家が最も知恵をしぼるところです。あなたが学習した二つ以上の作品を取り上げ、その方法と効果について、キーワードとなる言葉や表現の選択も含めながら比較対照し論じなさい。
5. 語調は、随筆や評論作品でどのような役割と効果を持っていると思いますか。二つ以上の作品から例をあげて、比較対照しながら考えるところを述べなさい。
6. 随筆・評論作品において、諸外国の文学や思想が引き合いに出されることが多いが、その目的と効果について、学習した二つ以上の作品を例にあげ、比較対照しながら、考えるところを述べなさい。

詩歌

7. 詩の中で使われている言葉やその表記方法は、詩人が意図的に選択したものです。学習した二人以上の詩人の作品から具体例をあげて、その意図と効果について比較対照しなさい。
8. 詩では、自由に非現実的な世界や事柄を表現できるとされているが、それがどんな効果を発揮しているのか、学習した二人以上の詩人の作品を例にあげ、比較対照しながら、考えるところを述べなさい。
9. 「詩は内容を要約することが不可能だ」という意見に賛成しますか。学習した二人以上の詩人の作品を例にあげて、比較対照しながら、自分の考えを述べなさい。

戯曲

10. 戯曲の最終幕は、主題にどのような効果を与えていますか。二つ以上の作品を比較対照し、考えるところを述べなさい。
 11. 戯曲は、どのような方法を用いて現実社会を反映していると思いますか。考えるところを、学習した二つ以上の作品を比較対照し、論じなさい。
 12. 戯曲家が場所設定をする際、道路や公園などのパブリックな空間を使う場合もあれば、家の中などのプライベートな空間を使うこともあります。それぞれが持つ効果について、またなぜそれらの空間が使われるのかについて、考えるところを述べなさい。学習した二つ以上の作品を比較対照し論じること。
-